

# 保育所における感染症の基礎知識

～新型コロナウイルス感染症への対応～

## 第2章 保育所における具体的な感染症対策①

～保育所での基本的な留意事項～

## 第2章

### 保育所における 具体的な感染症対策①

～保育所での基本的な留意事項～

# 1. 健康観察と症状のサーベイランス

## 1) 子どもの健康観察と記録

登園前（もしくは登園直後）の体温の測定

個人の健康記録のカード等を活用し、体温と体調を記録する

※家族内で体調不良がある場合にはカード等で記録してもらう

### 【家族内で体調不良がある場合】

- 在園児の登園は可能
- 子どもの体調をこまめに観察し、同様の症状が出た場合には早めのお迎えをお願いすることを朝の受け入れの時点で保護者に伝えておきます。

### 家庭内で新型コロナウイルス感染症の検査を受けている人がいる場合

1. 施設に報告してもらうようあらかじめ伝えておきます
2. 園児の登園の制限はありません。（咳、鼻水の症状がある場合は控えてもらう）

# 1. 健康観察と症状のサーベイランス

## 2) 症状のサーベイランス：

施設内や地域の症状の動向を把握し、感染症の流行を**早期探知**し、蔓延の予防に役立てる

早期探知とは？

感染者がたくさん出た状態（集団感染）で気づいても、すでに感染症は蔓延し、予防は不可能

発熱や咳、鼻水、喉の痛み、下痢、嘔吐、発疹などの症状を有する子どもがいつもより増えてきた段階で“早期探知”し、感染対策を講ずる

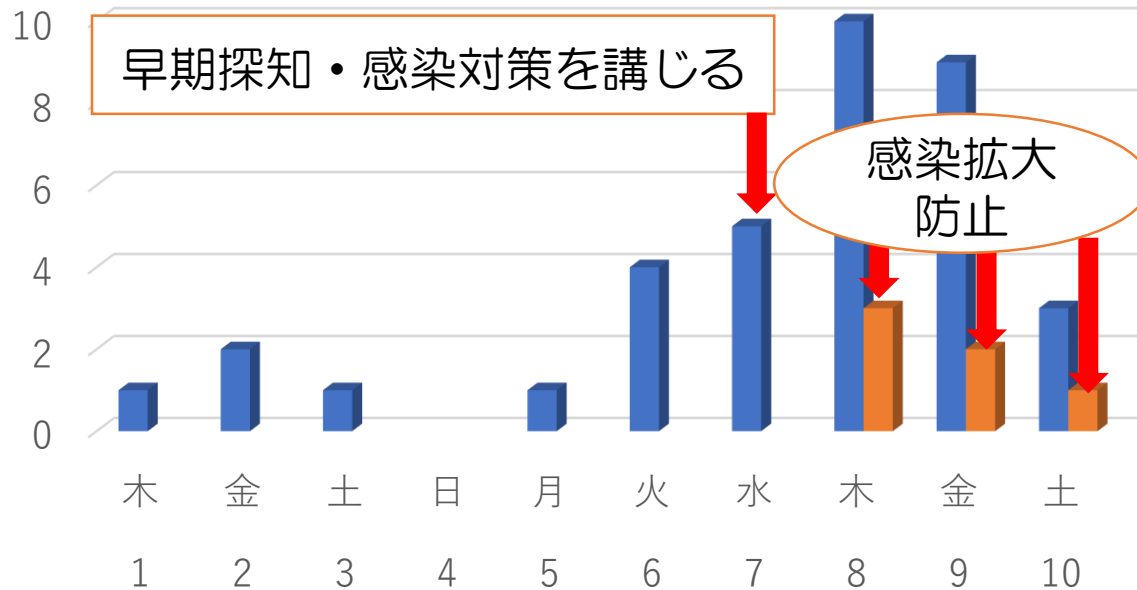


# 1. 健康観察と症状のサーベイランス

## 2) サーベイランスの活用例

日々の症状を有する  
子どもの人数を記録

例：呼吸器症状を持つ子どもの数/日



地域の流行状況を提示し、  
保護者へ注意喚起する



中学校区の感染状況を  
保護者へ掲示で周知し、  
注意喚起を図る

# 1. 健康観察とサーベイランス

## 病欠状況記入例

(全国保育園保健師看護師連絡会HPよりダウンロード可能)

		〇年〇月		視診、早退、欠席、状況、															乳児、幼児																	
年令	氏名	曜日	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	備考	その他								
		日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	病	私	出
1	〇〇 〇〇	/	/	/	/	/	/	私	/	/	私	カゼ	/	/	/	/	私	/	/	/	下痢	/	/	私	/	/	/	溶連菌感染症						6	4	16
2																																				
		呼吸器系(熱、咳、風邪)			消化器系			小児科			外科系			その他			伝染性疾患																			
《受診後登園者》				《予防接種》				《外来受診》																												
日	年令	氏名		理由	その他	日	年令	氏名		種類	備考	日	年令	氏名		理由																				
12	1	〇〇 〇〇		咳あり受診			1	△△ △△		MR																										

## 2. 感染症対策の基本： スタンダードプリコーション

「誰もが何らかの感染症を持っている可能性がある」と考え、  
感染の可能性のあるものへの接触を最小限にする

「感染の可能性のあるもの」として取り扱うもの  
血液・母乳、汗を除く分泌物（鼻水、目やに、痰、  
唾液）排泄物（便・尿・嘔吐物）、傷や湿疹のあ  
る皮膚、粘膜（口、鼻の中、肛門、陰部）



- \* 感染の可能性のあるものには素手で触れない
- \* 適切な防護を行う
  - 使い捨て手袋
  - 使い捨てエプロン
  - 使い捨てマスク
  - フェイスシールドやゴーグル（目の防護）

### 3. 飛沫感染対策：せきエチケット

➤飛沫が飛びやすい場面

咳・くしゃみ（2m以上）、会話（1m以上）、食事  
合唱や大きな声を出す活動、食事

せきやくしゃみをするときは  
せきエチケットしましょう



マスクをきちんと  
つけましょう



ティッシュやタオル  
を口にあてましょう



そでぐちで口を  
おさえましょう



# 3. 飛沫感染対策：マスクの着用

## 着け方

point

鼻と口、あごまで  
きちんと覆う!



ノーズピース部分に  
折り目をつける



ゴムヒモを耳にかける



針金を顔の形に合わせる



蛇腹をあごの下まで  
伸ばし鼻と口を覆う

## 外し方



表面に触れないように  
ゴムヒモを外す



表面に触れないように  
ゴムヒモを持って捨てる

point

- マスクの表面に触れないように外して、捨てる!
- マスクを外した後手指衛生を行う
- 衛生的に使用するため、適時交換する



## マスク着用時の注意点

- マスクの表面にはできるだけ触れない
- 顎にマスクをひっかかない
- マスクを外す際は衛生的に保管する

### 3. 飛沫感染対策：大人のマスク着用

- ▶ 新型コロナウイルス感染症対策のため、大人は極力マスクを着用しましょう
- ▶ 食事は距離を置き、会話は控えましょう

マスクは病原体の拡散は予防しますが、自身の感染のリスクを減らすことは限定的です。



～保育者等が口元を見せる活動（マスクを外す）が必要なとき～（対策例）

- 子どもから2m（最低でも1m離れる）
- マスクを外す時間はできるだけ短くする（15分以内）
- 大きな声は出さず、くしゃみや咳は必ず何かで口元を覆う

### 3. 飛沫感染対策： フェイスシールドとマスクシールド



フェイスシールド

使用目的：着用する人の目の粘膜を相手からの飛沫から守るもの  
使用場面：歯科検診やマスクができない体調不良児への対応など

マスクシールド（透明マスク）

使用目的：口元を見せる  
※マスクシールドが飛沫拡散を防止する  
根拠は十分でない



フェイスシールド・マスクシールドが着用している人の  
飛沫の拡散を防止する効果には根拠が十分でない

# 3. 飛沫感染対策： 子どものせきエチケット

## ▶子どものマスクの着用について

2歳未満：着用は推奨されない

2歳以上：就学前は大人が子どもの体調を十分に注意する

無理して着用をさせない

※WHOは5歳以下のマスクの着用は必ずしも必要としていない

※風邪症状がある場合：2歳以上は可能な範囲でマスクを着用

## ▶子ども同士や子どもからの飛沫をどのように予防したらよいか？

- 子どもたちの発達段階に合わせたせきエチケットの健康教育

- 咳や鼻水などの症状がある場合→登園を控えてもらうことが望ましい

※登園せざるを得ない場合には、マスクの着用や午睡や食事の時に

は他の子どもと離れて接することができるよう工夫をしましょう。

# 4. 接触感染対策：手指衛生

- 職員・保護者・子どもたち全員が正しく手指衛生を行う

## ＜流水と石けんによる手の洗い方＞

1. 液体せっけんを泡立て、手のひらをよくこする



2. 手の甲を伸ばすようにこする



3. 指先、爪の間を念入りにこする



4. 両指を合体し、指の間を洗う



5. 親指を反対の手でにぎり、ねじり洗いをする



6. 手首も洗った後で最後によくすすぎ、その後よく乾燥させる



※水道の栓を止める時は手首か肘で行う。  
出来ない時はペーパータオルを使用し止める



# 4. 接触感染対策：手指衛生

## ＜アルコールによる手指消毒＞



## 4. 接触感染対策：手指衛生

### 【手指衛生が必要な場面】

- 施設にはすぐ入って出勤時、登園時、送迎時)
- 飲食する前（飲食の準備をするとき）
- 排泄介助後、排泄後
- 鼻水や唾液、血液等体液に触れたとき
- 戸外活動後

### ＜職員＞

- 休憩に入る前、休憩後
- 子どもの食事介助後（子どもの唾液等が手に付着しているため）

## 4. 接触感染対策：環境衛生

### ＜環境衛生が必要な場所＞

- 高頻度接触部位（職員や子どもがよく触れる場所）

例）ドアノブ、電気のスイッチ、日誌入力のタブレット端末やペン、  
電話、ロッカー、階段の手すり、エレベーターのボタンなど

- 子どもが使用するおもちゃ

おもちゃの衛生管理方法（感染症非流行期）

おもちゃの種類	衛生管理方法
プラスチック等洗浄可能なおもちゃ	<ul style="list-style-type: none"><li>• 台所用洗剤等界面活性剤を用いて洗浄し、流水で流す</li><li>• 消毒液による清拭</li></ul>
木製等洗浄不可のおもちゃ	<ul style="list-style-type: none"><li>• 薄めた界面活性剤もしくは消毒液で清拭</li></ul>
布製のおもちゃ	<ul style="list-style-type: none"><li>• 洗剤による洗濯</li></ul>



## 4. 接触感染対策：環境衛生＜消毒液＞

- 消毒液は**医薬品**・**医薬部外品**を適切な場所、濃度・用法で使用

消毒の種類	手指	環境消毒	汚染箇所
アルコール消毒液	○	○	○
次亜塩素酸ナトリウム	×	○	○
第4級アンモニウム塩 (塩化ベンザルコニウム等)	×	○	○
加熱（80℃、10分以上）	×	○	○

- ・ノロウイルス
  - ・アデノウイルス
  - ・エンテロウイルス  
(手足口病等)
- 上記は**次塩素酸ナトリウム消毒液**か**加熱**のみが有効

※消毒液の濃度は適切に使用し、平時と感染期に分け対応を行う

※消毒液を使用する前には目に見える汚染は取り除く

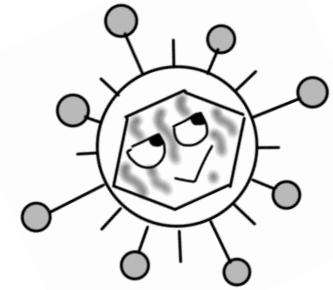
※消毒液を使用した場合にはその後に揮発させる、もしくは水拭きをする

# 4. 接触感染対策： 新型コロナウイルス感染症と消毒

- 新型コロナウイルスの特徴：

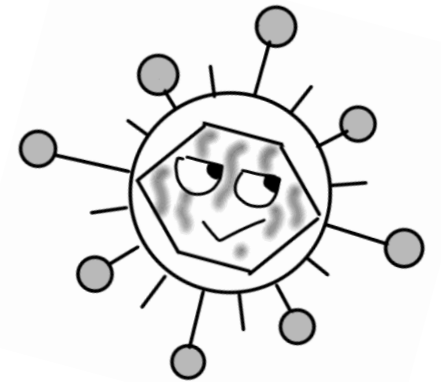
膜（エンベロープ）を持つウイルス

→消毒や洗浄によりウイルスの膜が壊される弱いウイルス



## ＜新型コロナウイルスに有効な消毒液と清掃用品＞

- アルコール消毒液(70%以上95%未満)
- 次亜塩素酸ナトリウム(平時は環境消毒0.02%、感染時は0.05%)
- 塩化ベンザルコニウム（逆性石けんなど）
- 界面活性剤を含む洗剤



# 4. 接触感染対策： 新型コロナウイルス感染症と消毒

## 【次亜塩素酸ナトリウム消毒液と次亜塩素酸水】

### ➤ 次亜塩素酸ナトリウム

- 皮膚への刺激が強い、目に入る・吸い込むことは健康被害につながる
- アルカリ性であり、揮発性が高く、有毒ガスを発生させることがある

### 次亜塩素酸ナトリウム消毒液使用時の留意点

- 使用方法・使用容量を守る
- 換気をし、手袋・マスクを着用する
- 手指には使用しない
- **スプレータイプで噴霧は絶対にしない**

### ➤ 次亜塩素酸水

- 電気分解法で生成した次亜塩素酸を主成分とし、安定性が悪い
- 使用時は、適切な量で表面を十分に覆い（ひたひたに）、時間をおく
- **手指への使用や噴霧は次亜塩素酸ナトリウムと同様に行わない**

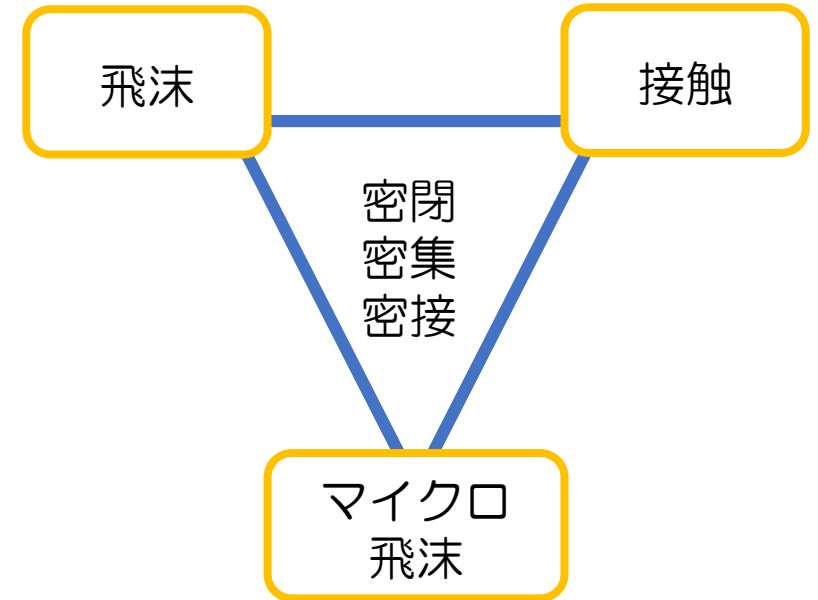


# 5. 空気感染対策： 換気と留意すべき保育活動

## ◆ 3密が揃う状況避ける

3密とは

- 換気が不十分な密閉空間
- 多数が集まる密集場所
- 人と人との距離が近い密接場面



新型コロナウイルス感染症対策分科会（第4回）より引用

※人と人の身体的距離を取ることは保育施設では難しい

## ◆ 密閉を避けるための定期的な換気

→ 最低30分に1回数分間、できるだけ2方向の窓やドアを開ける

## ◆ 密閉・密集空間での音楽（歌やピアノ等）、体育活動は避ける